【様式１】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	熊本県
取組市町村名 取組団体・企業名	熊本市 城東保育園
取組の名称	菜園活動を通して食べ物の旬を話題にする。 よく噛んで食べる。ご飯と交互に食べる。
実施時期	６月
取組内容に該当する食育ピクトグラム（複数選択可）	 ☑1 ☐2 ☑3 ☐4 ☑5 ☐6 ☐7 ☐8 ☐9 ☑10 ☐11 ☐12
取組内容	【５歳児】 ・土づくりの大切さを伝え、全員で耕したのち、芋苗をうえた。その後も水やりを率先しておこない、生長していく様子を興味を持って観察している。 【４歳児】 ・クラスの栽培活動を保護者にも知ってもらうため、保育参観の日にきゅうりを収穫。みんなで触って匂いをかいで観察する。少量ずつではあったが、給食で提供すると喜んで食べていた。 【３歳児】 ・クラスで栽培しているパプリカを楽しみに観察しているので、保育士も一緒に実や葉っぱ・花をじっくりと観察してクレヨンでスケッチした。 実際に見る・触る・嗅ぐという経験を通し興味関心が高まったようだ。

<table>
<tr>
<td></td>
<td>
【２歳児】
・よく噛んで食べること、交互に食べることを絵にして部屋の子どもたちの目に入るところに貼っておくことで、食事中も意識して取り組むことができた。
・クラスで栽培しているナスの水やりも子どもたちから進んでするようになり、成長を楽しみにしている。

【１歳児】
・「もぐもぐ」等子どもの口の動きに合わせて声掛けを行い、よく噛めるように心がけた。「おいしい」という言葉が増えたため「味」を感じているのではないかと思う。また、白ご飯が最後に残らないように、交互に食べるように声を掛けることで味のあるおかずの風味を感じ、白ご飯も食べることができていた。

【０歳児】
・よく噛んで食べる習慣が身につくように「かみかみ、もぐもぐしようね」等と声を掛けながら給食の介助を行った。また、一口量を覚えるために、子どもの状況に合わせながら、手づかみ食べも積極的に行うようにした。

</td>
</tr>
</table>